

災害・避難カード ~一人ひとりが考えて決める避難手順~

私の避難情報マップ°（作成例）

【凡例】

土砂災害の危険がある区域

- 土砂災害警戒区域（イエロー）
- 土砂災害特別警戒区域（レッド）

水害（浸水）の危険がある区域

- 0.0m以上 0.5m未満
- 0.5m以上 1.0m未満
- 1.0m以上 2.0m未満
- 2.0m以上 5.0m未満
- 5.0m以上

○私の避難情報マップの作成

- 自宅を「○」で囲み、地図の着色を見て、水害や土砂災害の危険があるかどうかを確認します。
- 安全な避難場所を決めます。地図に着色がなく、水害や土砂災害の危険がない、もしくは危険が少ない施設を選び、「◎」を記入します。
※市町村が指定する避難場所以外を選択した場合は、災害発生時に本当に避難できるかどうかを確認して下さい。
- 声掛けや一緒に避難する必要がある方がいる場所に「△」を記入します。
- 自宅「○」から一緒に避難する必要がある方がいる場所「△」を経由して避難場所「◎」まで行く道順を「→」で書き込みます。

家族で話し合いながら決めて、災害に備えましょう。
また、決めたことを地域で確認しあい、見直しましょう。

○お住まいの地域の危険箇所マップの確認方法

各市町村から配布されている土砂や浸水害のハザードマップを確認しましょう。
また、「ぎふ山と川の危険箇所マップ」ホームページで確認することができます。

リンク先 : <https://kikenmap.gifugis.jp/>

QRコード

ぎふ山と川の危険箇所マップ
あなたの地域は安全ですか？危険な箇所を調べましょう。

はじめに 郵便番号を入力してください。
〒 502 - 0903

次に 調べたい危険箇所を
選んでください。

山と川の危険箇所
(土砂災害警戒区域と浸水想定区域)

郵便番号を入力したあと、
「山と川の危険箇所」を選択

「山の危険箇所」とは、県が公表している土砂災害危険箇所や、
土砂災害防止法に基づき指定した土砂災害警戒区域のことです。
また、土砂災害警戒区域の指定が完了していない地域については、
+避難場所を表示しています。

④私の避難タイミング



①誰と避難する？

誰と？	連絡先は？
-----	-------

②何を持って避難する？

何を？	大きさは？	重さは？
【合計】 kg		
避難生活で必要なものや貴重品などを記入します。 大きさや重さから、本当に持っていくか考えましょう。		

③避難に必要な時間は？

A 安全な場所は？

- ＜確認してみましょう！＞
- イエローの外
 - レッドの外
 - 浸水区域の外

ハザードマップ等を確認して、身を守るために安全な場所を記入します。

B 安全な場所まで片道何分（通常時）？

徒歩なら ⇒ 分 / 車なら ⇒ 分

荷物を持って避難することを考慮してください。
豪雨時は通常時よりさらに時間がかかります。

C 安全な場所まで片道何分（豪雨時）？

徒歩なら ⇒ 分 / 車なら ⇒ 使用不可

身支度などの時間も含めます。

D 避難を決断してから 家を出るまでに何分？

分

一緒に避難する方の自宅に立ち寄り、支援するのにかかる時間です。

E 要支援者を支援するのに何分？

分

避難時間を合計し、避難開始のタイミングを決めるのに使います。

F 避難を決断してから安全な場所まで何分？

徒歩なら ⇒ 分 / 車なら ⇒ 分 / 豪雨時なら ⇒ 分
(B+D+E) (B+D+E) (C+D+E)

以下のタイミングや、その他の必要な内容を記入。

- 1 「避難を完了する」、2 「避難を開始する」
 - 3 「情報をこまめに確認する」、4 「気象情報等に关心を払う」
- ※その他の記入例：連絡網をまわす、どこから情報を得るか 等

私のまちの危険情報を知るには？

＜避難情報＞

- お住まいの市町村の避難情報を知るには？

⇒各自治体 HP

＜気象情報＞

- 気象情報（注意報・警報等）を知るには？

岐阜、気象台 検索 ⇒ 岐阜地方気象台 HP

＜警報の危険度分布＞

- 洪水や土砂災害等の危険度の高まりを知るには？

岐阜、気象台 検索 ⇒ 岐阜地方気象台 HP

＜水位情報＞

- 河川の水位を知るには？

岐阜、川の防災情報 検索 ⇒ 岐阜県川の防災情報 HP

川の水位情報 検索 ⇒ 川の水位情報 HP